



図-70 しゅう曲（福島盆地西縁）



図-71 層内しゅう曲（南会津郡下郷町）

ように、おもに水の中（特に海水中）にたい積します。その後、地盤はたえず、上下の運動（隆起、沈降）をくり返しています。その時傾いたものだと考えられています。その後、図の上の部分にたい積して、あとは安定した時期が続いたものと思われます。このような地層の関係を不整合と呼んでいます。

つぎに、図-70のように地層がおれ曲ってしまったものについて考えてみましょう。これも、前と同じように、常に少しずつ動いている地盤に、力が加わっておれ曲ってしまったのです。しかし、すべての地層がおれまがるものとするのは誤りです。その地層が比較的弾力性がある場合に起るもので、それ以外は切れてしまうのです。地層がまがりくねる場合については、図-68のモデルで理解できるでしょう。地層の曲りとはまったく別に図-71のような、一枚の地層の中でも見られることがあります。これはたい積する時の様子に変化があったのです。